

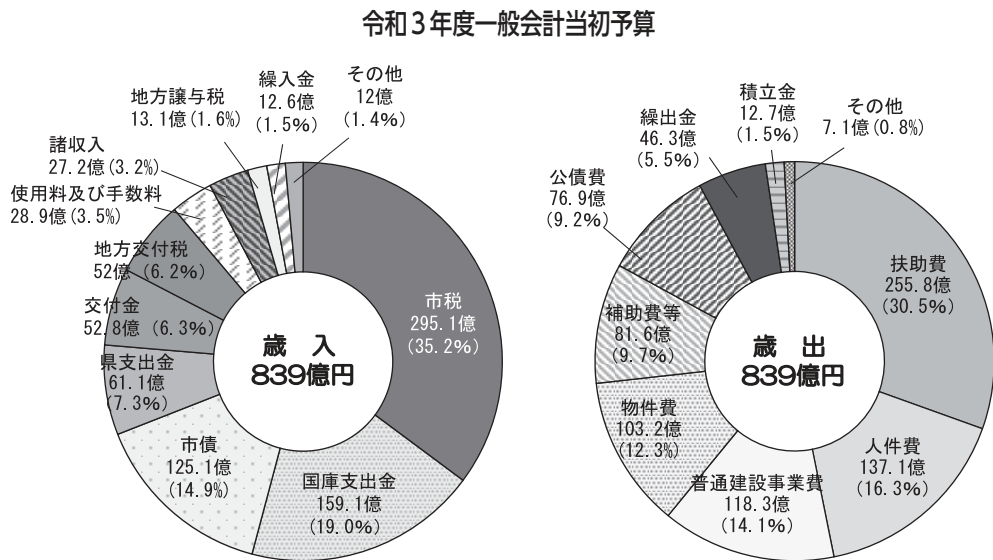
# 令和3年度当初予算が可決

## 「人の絆 まちの輝き 未来へつなぐ 伊丹」の実現

令和3年第1回市議会定例会で3年度当初予算が可決されました。3年度当初予算の概要などは市ホームページで確認を。予算全般の問い合わせは市財政企画課 ☎784・8028、公営企業会計は市立伊丹病院 ☎77・3773、市上下水道局 ☎783・1600、市交通局 ☎781・3753、市ポートレール事業局 ☎6・6419・3181へ。

令和3年度当初予算は、4月に市長選挙が予定されていることを踏まえ、継続事業を中心とした骨格的な予算編成としています。そのため、6月補正予算における政策予算(いわゆる肉付け予算)に要する一般財源所要額を含み、予備費を1億5千万円措置しています。

一般会計当初予算は、新型コロナウイルスナワクチン接種関連経費や新庁舎整備費、認定こども園整備費などを予算化した結果、前年度比39億円(4・9%)増の総額839億円で過去最高額となりました。



構成比は小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は必ずしも100%にはなりません

| 各会計当初予算 △はマイナス            |                 |         |
|---------------------------|-----------------|---------|
| 会計区分                      | 本年度当初予算額        | 対前年度伸び率 |
| 一般会計                      | 839億円           | 4.9%    |
| 特別会計                      |                 |         |
| 国民健康保険事業                  | 188億2千402万1千円   | 0.6%    |
| 後期高齢者医療事業                 | 31億517万2千円      | 1.7%    |
| 介護保険事業<br>(中小企業勤労者福祉共済事業) | 148億4千854万2千円   | △3.4%   |
| 鴻池財産区                     | 1千198万9千円       | △1.0%   |
| 荒牧財産区                     | 1千527万7千円       | △3.5%   |
| 新田中野財産区                   | 1千996万8千円       | 57.6%   |
| 小計                        | 368億2千496万9千円   | △1.0%   |
| 公営企業会計                    |                 |         |
| 病院事業                      | 172億1千617万1千円   | 21.8%   |
| 水道事業                      | 64億9千174万9千円    | 0.8%    |
| 工業用水道事業                   | 6億914万5千円       | 26.0%   |
| 下水道事業                     | 79億8千99万4千円     | △11.4%  |
| 交通事業                      | 27億8千955万8千円    | △1.7%   |
| モーターボート競走事業               | 186億2千112万9千円   | 12.3%   |
| 小計                        | 537億874万6千円     | 8.5%    |
| 合計                        | 1千744億3千371万5千円 | 4.6%    |

### 市民1人当たりの一般会計予算

|                                                         |                                                                         |                                                                          |
|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------|
| 扶助費 12万8千894円<br>生活に困窮している人、子ども、高齢者、障がい者などを援助するために必要なお金 | 人件費 6万9千74円<br>職員の給与や市議会議員の報酬などを支払うために必要なお金                             | 普通建設事業費 5万9千578円<br>道路や建物の建設や改修をするために必要なお金                               |
| 物件費 5万1千996円<br>公園や建物の管理、コンピュータのリースなどのために必要なお金          | 一般会計予算<br>市民1人当たり<br><b>42万2千696円</b><br>※令和3年1月1日現在の推計人口(19万8千488人)で算出 | 補助費等 4万1千118円<br>クリーンランド(ごみ処理施設)や市民団体の補助などのために必要なお金                      |
| 公債費 3万8千755円<br>借金(市債)の返済のために必要なお金                      | 繰出金 2万3千348円<br>国民健康保険や介護保険など、一般会計とは違う財布(特別会計)で行っている事業に支払うためのお金         | その他(積立金)など9千933円<br>将来、建物を建設したり借金(市債)を返したりするために、あらかじめ貯金(基金)などに積み立てるためのお金 |

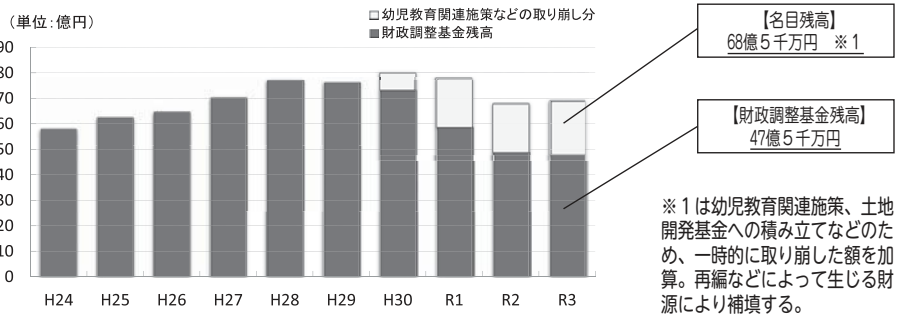
## 一般会計予算の財政指標～貯金や借金の残高を解説

※各グラフは、令和元年度までは決算額、2年度は決算見込み額、3年度は当初予算額

### 財政調整基金残高の推移

#### ■財政調整基金＝市の貯金

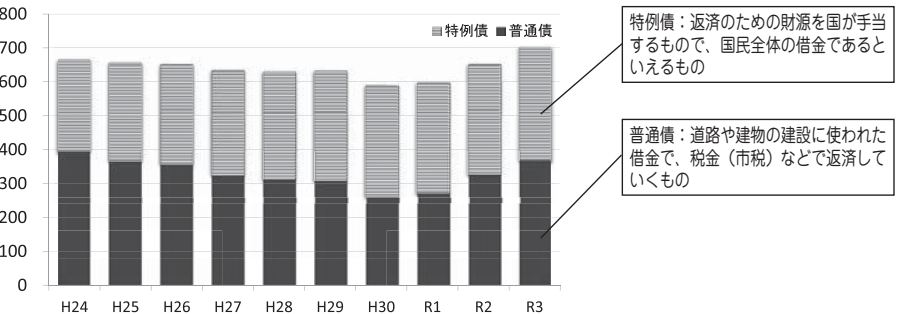
令和3年度当初予算において、8千万円を幼児教育推進計画に基づく関連施策のために取り崩す予定としており、3年度末の財政調整基金残高は約47億5千万円となる見込みです。



### 市債残高の推移

#### ■市債＝市の借金

普通債残高は、公共施設再配置の進展などに伴う普通建設事業の増加により発行額が増加し、前年度比で40億7千万円の増加となります。特例債については臨時財政対策債の発行額が増加することにより、市債残高合計では、51億4千万円の増加となる見込みです。



## 漫画と出前講座で 簡単！分かる！市の財政



市は、漫画を交え、分かりやすく市の財政状況を解説した冊子「がんばってまっせ！伊丹市の財政～いたみの財政白書」(写真①)を市役所や各支所・分室などで配布しています。

同冊子の内容を簡単にまとめた動画(ケーブルテレビ市広報番組「伊丹だより」)を市公式YouTubeで配信しています。

また、市の財政状況を身近に感じてもらえるよう、同冊子を使い、出前講座を行っています(写真②)。気軽に申し込みを。なお、同冊子の掲載内容は市ホームページからも読むことができます。

市財政企画課 ☎784-8028